

市内一斉地震・津波避難訓練

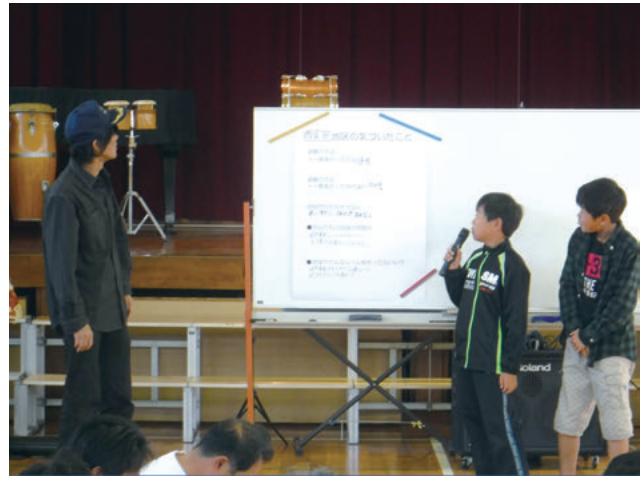
11月5日の世界津波の日に合わせて、11月4日（日）に市内全域において、地震・津波避難訓練を実施しました。

午前9時に津波を伴う南海トラフ巨大地震が発生した想定で、地震から身を守る行動「シェイクアウト訓練」を各自で行い、午前9時3分に同報系無線により大津波警報訓練の放送を受けた住民6,553人が津波避難訓練等を行いました。

湯川・藤田地区では関西学院大学の照本清峰准教授と学生の協力の元、地域別津波避難マニュアルの作成に取り組んでいます。今回の訓練は、ワークショップの中で、地域住民が訓練計画を立てて、それを実施しました。



▲藤田地区 津波避難訓練



▲湯川地区 学習会

非常持出品の準備、できていますか？

震災時、いち早く津波から逃げるには事前からの準備が重要です。

各家庭で事前に「非常持出品」を準備しておきましょう。ここでは代表的なものを紹介しています。是非、準備する際の参考にしてください。

非常持出品チェックリスト



食料品 など 	☐ 非常食 (缶詰、乾パン、 インスタント食品等) ☐ 飲料水	便利品 等 	☐ 防災ずきん ☐ 懐中電灯 ☐ 笛やブザー ☐ 万能ナイフ ☐ マスク ☐ 毛布 ☐ 軍手や皮手袋 ☐ マッチやライター ☐ 雨具 (カッパや長靴) ☐ 電池	情報収集 用品 	☐ 携帯電話（充電器） ☐ 携帯ラジオ ☐ ハザードマップ ☐ 筆記用具 ☐ ご家族の連絡先
貴重品 	☐ 現金（小銭） ☐ メガネ ☐ 預金通帳 ☐ 健康保険証 ☐ 身分証明書 ☐ 印鑑 ☐ 母子手帳			衛生管理 用品 	☐ 救急セット ☐ 常備薬・持病薬 ☐ タオル ☐ 着替え ☐ トイレットペーパー

※ チェックリストのものはあくまで代表的なもので、家族構成・住居や地域の特性によって必要となるものは異なります。自分や家族にとって本当に必要なものを考えて準備しましょう。

玄関や寝室など持ち出しやすい所に置いておき、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。背負える袋などに入れておけば、持ち出した時に両手が使えて便利です。